

授業科目名： 初等教科教育法（理科）	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 北村 克久 担当形態： 単独
実務内容 （実務家教員の場合）	小学校教諭としての勤務経験を持つ教員が、理科における指導計画の作成、学習指導案の作成について指導する。		
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。） ・理科		
「学位授与の方針」との関係 DP2. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標 小学校学習指導要領理科の改訂のねらい、意義と役割、構成内容、内容の取扱い、評価などを把握し、各学年の目標と指導内容を理解し、最小限必要な観察、実験などの指導方法を修得する。その上で、理科学習指導案を作成することができる。			
授業の概要 小学校理科の目標「自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験などを行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力の育成」の具現化を目指す。			
授業計画 第1回：理科教育の意義と役割 第2回：理科教育の目標と各学年の目標 第3回：内容構成：小学校理科の「A物質・エネルギー」、「B生命・地球」を柱とした内容の構成 第4回：具体的な内容と指導法（情報機器及び教材の活用、授業映像を含む）（第3学年）A物質・エネルギー 第5回：具体的な内容と指導法（情報機器及び教材の活用、授業映像を含む）（第3学年）B生命・地球 第6回：具体的な内容と指導法（情報機器及び教材の活用、授業映像を含む）（第4学年）A物質・エネルギー 第7回：具体的な内容と指導法（情報機器及び教材の活用、授業映像を含む）（第4学年）B生命・地球 第8回：具体的な内容と指導法（情報機器及び教材の活用、授業映像を含む）（第5学年）A物質・エネルギー 第9回：具体的な内容と指導法（情報機器及び教材の活用、授業映像を含む）（第5学年）B生命・地球 第10回：具体的な内容と指導法（情報機器及び教材の活用、授業映像を含む）（第6学年）A物質・エネルギー 第11回：具体的な内容と指導法（情報機器及び教材の活用、授業映像を含む）（第6学年）B生命・地球 第12回：環境教育及び栽培、飼育 第13回：指導計画の作成、事故防止の留意点 第14回：理科学習指導案の作成と授業づくり 第15回：学習過程における評価 科目修得試験			
スクーリングでの学修 「科学的コミュニケーション」について学び、学習指導要領の構造とキーワードについて理解し、指導案や授業実践とのつながりについて学びます。具体的な指導方法の工夫については、映像等を通して学びます。			
テキスト （1）文部科学省『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 理科編』東洋館出版社、978-4-491-03463-8 （2）文部科学省国立教育政策研究所『平成30年度全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた理科の学習指導の改善・充実に関する指導事例集【小学校】～主体的・対話的で深い学びの実現に向けて～』 https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryou/rika/pdf/rika_pri.pdf			
参考書・参考資料等 （1）『「指導と評価一体化」 諫ため諫学習評価に関する参考資料・小学校理科』（文部 科学省国立教育政策研究所） https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_rika.pdf （2）養老孟司・角屋重樹ほか（2023年）「みらいをひらく小学理科3年」教育出版、9784316204864 （3）養老孟司・角屋重樹ほか（2023年）「みらいをひらく小学理科5年」教育出版、9784316204888			
学生に対する評価 スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）			